

3分で読める 医療安全ニュース 8期/14号

事故報告書の入力について

● 事故報告書の入力について

1. 医療安全ニュースではこれまでも7期/2号、11号、8期/4号で、標題について広報を続けてきました。(過去の医療安全ニュースは、[医真会 HP](#)→[トピックス](#)→[医療安全管理室](#)、で確認できます)。新入職員が入職された時期でもあり、再度、職員みなさんへのお願いと入力時の要点についてまとめました。この機会に、過去の医療安全ニュースもご確認よろしくお願いたします！
2. 2016年6月から電子カルテ端末から事故報告入力することとなりました。事故報告の意義は個人のミスを追求めるためではなく、提出された報告書から再発防止策に必要な情報を集めることであるとされています。**事故報告を入力する基準**は「医療事故防止マニュアル」の11ページ「**医療事故報告書のレベル分類**」の「**内容**」に該当(下表参照)すれば、入力していただく義務が生じるということになります。「患者への影響度」=「レベル分類」も「内容」からご判断下さい。事故報告の「**レベル0**」には、「患者に傷害を及ぼすには至らなかったが、日常の診療現場で「ヒヤリ」としたり、「ハッ」とした出来事」の報告も含まれています。

区分	患者への影響度	傷害の継続性	傷害の程度	内容	こちらの項目に該当すれば入力
インシデント	0	-		エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者に実施されなかった場合	
	1	なし		患者への実害はなかった (何らかの影響を与えた可能性は否定できない)	
	2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった (患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性を生じた)	
	3a	一過性	中程度	単純な処置や治療を要した (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)	
アクシデント	3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した (バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)	
	4a	永続的	軽度～中程度	永続的な傷害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題を伴わない	
	4b	永続的	中程度～高度	永続的な傷害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う	
	5	死亡		死亡 (原疾患の自然経過によるものを除く)	

● 入力についてお願い！

1. 電子カルテの「フォルダの退避」から「900 インシデントアクシデント」をクリックすると下図のようにアイコンが並んでいます。左端は**ビデオでの入力方法説明**です。右端が**入力マニュアル** (各部署配布の医療事故防止マニュアルにも綴じてます)です。



2. 「**利用者で新規作成**」は廊下に針が落ちていたなど、**患者が特定できないときのみ**に使用するものであり、通常患者が把握できるときは「**患者指定新規作成**」を選んで下さい。患者が複数でも入力時に(複数)指定できます。
3. **転倒転落のカテゴリ**は「**療養上の世話**」となります。さらに下位項目に「転倒転落」「給食」などがあります。
4. 緑の十字マークは必ず見ていただき入力をお願いいたします。何が正しかったのか？を考えると、入力しやすいとの報告もあります。
5. 一時保存では報告書を記載したことにはなりません。入力後は「登録」してください。2018年4月の時点で、**一時保存が154件**あります。当事者(入力者)が登録(確定)にしない限り、統計にもはじかれ、コメントも入力出来ない状態が続いてしまいます。

● 承認者の方へお願い！

1. 当事者は「登録(確定)」したが所属長が「承認」しないため、医療安全管理室に報告されない事例が**155件**あります(一番古い事例は2016年7月)。重要な業務のひとつである「事例報告書」入力に、ご協力よろしくお願いたします。